

令和3年度 新型コロナウイルス感染症に関する対応・主な取組み

[新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金]

【北海道・安平町】

区 分	総事業費
1. 感染症拡大の防止	5,528 千円
2. 雇用の維持と事業の継続	22,204 千円
3. 経済活動の回復	35,861 千円
4. 強靱な経済構造の構築・ 地域未来構想やデジタル化関係等	62,092 千円
合 計	125,685 千円
【充当財源】	
・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	105,651 千円
・ 北海道補助金	8,000 千円

【留意事項】

- ・ 総事業費については、令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業計画書の提出時（令和3年7月時点）の金額

(単位：千円)

1. 感染症拡大の防止				
No.	事業名	事業概要	総事業費	備考
3	公共施設等感染予防対策事業 [税務住民課]	公共施設等での町民相談等における感染症対策の強化として、パーティションを購入する。	1,900千円	
4・5	感染拡大防止個別旅客等運送緊急対策事業 [政策推進課]	公共交通の利用時の混乗や密集軽減として、ハイヤーを利用する運送事業に係る費用を補助する。	3,515千円	
22	新型コロナウイルス対策修学旅行補助金事業 [教育委員会]	町内中学校の修学旅行延期に伴う航空代金のキャンセル料負担に係る費用を補助する。	113千円	
	小計 ①		5,528千円	

2. 雇用の維持と事業の継続				
No.	事業名	事業概要	総事業費	備考
4・5	感染拡大防止個別旅客等運送緊急対策事業【再掲】 [政策推進課]	公共交通の利用時の混乗や密集軽減として、ハイヤーを利用する運送事業に係る費用を補助する。	【再掲】 「1. 感染症拡大の防止」に掲載	
15	ときわキャンプ場環境整備事業 [建設課]	コロナ感染症のまん延とアウトドアブームを契機として利用ニーズが高まっているキャンプ場において、利用者の密回避・利用者への感染対策の周知徹底を図り事業の継続を行うため、キャンプ場の環境整備を行う。	5,824千円	
16	鹿公園キャンプ場環境整備事業 [建設課]		1,951千円	
18	安平町職員採用事業 [総務課]	コロナを契機に地方で働くことや離職・転職を考えている人も想定し、安平町職員の募集周知を幅広く行うため、民間求人サイトを活用した募集周等を行い、アフターコロナに向けた新規採用者の確保を図る。	2,101千円	
19	医師確保支援事業 [健康福祉課]	コロナ感染症がまん延する中、地域医療を維持するため、医師の確保に必要な経費に充てる。	1,200千円	
20	休日夜間地域医療体制確保事業 [健康福祉課]	コロナ感染症がまん延する中、休日・夜間の患者受け入れを行う診療体制維持のために配置する医師・看護師・介護士等の医療従事者を確保するために必要な経費を支援する。	9,700千円	
21	キャンプ場 感染対策事業 [建設課]	コロナ感染症のまん延とアウトドアブームを契機として利用ニーズが高まっているキャンプ場において、受付時の密回避を図るための環境整備に係る経費に充てる。	1,428千円	
	小計 ②		22,204千円	

3. 経済活動の回復

No.	事業名	事業概要	総事業費	備考
6 ・ 7	鉄道等利用促進活動助成事業 [政策推進課]	アフターコロナに向けて、日本遺産「炭鉄港」や民族象徴空間ウポポイなどと連携した町民自主企画による鉄道等の利用促進活動に係る経費を助成する。 ・利用促進を行う団体助成金 ・モデルコース作成等委託	534 千円	
11 ・ 12	道の駅を拠点とした関係・交流人口回復事業 [商工観光課]	道の駅開業による交流人口の拡大や経済効果が短期間で減少した現状を回復させるため、with コロナ・アフターコロナ期の地域活性化に向けた取組みとして、道の駅と柏が丘公園を拠点とした集客確保に向けた来訪者受入れに要する取組みやプロモーションを実施する。	10,025 千円	
13	安平町消費拡大地域活性化事業（プレミアム商品券事業） [商工観光課]	外出自粛等により落ち込んだ消費活動の回復を目指し、商工会が実施するプレミアム商品券の発行支援を行う。 プレミアム率 30%×8,000 セット	25,302 千円	
	小 計 ③		35,861 千円	

4. 強靱な経済構造の構築・地域未来構想やデジタル化関係等

No.	事業名	事業概要	総事業費	備考
1	行政手続き等における書面規制、押印、対面規制の見直し事業 [総務課]	行政手続きのオンライン化と感染症のまん延防止の観点から、行政手続きの「書面規制、押印、対面規制の見直し」とオンライン化を実現するための基礎資料を作成する。	2,783 千円	
2	働き方改革推進事業 [総務課]	新たな働き方を目指し、役場庁舎等における会議でのペーパーレス化とリモートワーク環境を構築するため、必要となる環境整備とパソコン等の関連機器を購入する。	5,928 千円	
8	サテライトオフィス誘致支援事業 [政策推進課]	コロナ感染症のまん延を契機として、地方への「人・事業所・企業」の流れ促進に向け、首都圏から地方へのサテライトオフィスに関心・検討を寄せる事業所や企業の誘致を図るための取組みを行う。	3,520 千円	

9	医療機関・介護事象所との連携を図るためのオンライン支援機器整備事業 [健康福祉課]	新しい生活様式の対応に向け、医療機関や介護事業所間との情報交換、会議、各種相談業務をリモートで行う環境を整備する。	671 千円	
10	バーコードシステム導入による作業の省力化・省人化事業 [産業振興課]	追分アサヒメロン組合が行うメロン選果作業時間の短縮による省力化と接触機会の低減による省人化を図るため、バーコードシステム導入の取組みに対して補助を行う。	1,162 千円	
14	地域の魅力磨き上げ事業 [商工観光課]	アフターコロナを見据え、将来性を有する観光コンテンツの開発・発信に向けた取組みの一助として、地域資源である日本遺産「炭鉄港」と北海道いぶり五大遺産の「むかわ竜」とのコラボ企画を、道の駅で試行実施する観光協会へ補助する。	3,740 千円	
17	早来小中学校 ICT 環境開発事業 [教育委員会]	デジタル技術を積極的に取り入れた学校教育施設（施設一体型早来小中学校）を目指し、学校関係者だけでなく地域開放で利用する一般利用者がスマートフォン等を利用しネット予約できるシステム開発や、予約と連動した鍵システムの開発を行うための ICT 環境開発を行う。	40,053 千円	
23	物産館展示ギャラリー整備事業 [商工観光課]	感染拡大により減少した経済効果の回復に向け、国内有数の競走馬産地であることを発信する展示ギャラリー（パネル掲示等）を製作するとともに、新たな生活様式やデジタル化という観点を踏まえて、町内の観光拠点（道の駅など）や店舗情報を QR コード等で掲示し、遠隔からの情報入手と回遊促進につなげる。	4,235 千円	
	小 計 ④		62,092 千円	

	合 計 (①+②+③+④)		125,685 千円	
--	---------------	--	------------	--